

ほけんしつの一と



令和4年12月5日

No. 8

川越市立霞ヶ関東中学校

保健室

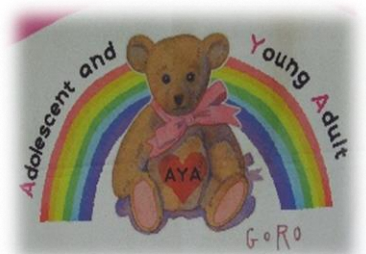
川越市では、「いのちの教育」として「がん教育」「救命教育」「性に関する指導」を推進し、本校でも昨年度に引き続き、外部講師と連携した「いのちの教育」に取り組んでいます。

9月の第3学年の「がん教育」に引き続き、11月10日（木）に第1学年と学校保健委員会にご参加いただいた保護者を対象とし「がん教育」の講演会を実施しました。NPO法人くまがやピンクリボン会のKK様、IT様、OS様を講師にお招きし、「がん」についての基礎知識や、がんサバイバー（「がん」を体験した人）の先生とがん患者のご家族である先生から体験談をお話いただきました。



中学生から考える生命(いのち)の授業

サバイバーが話すがん教育



- ・ピンクリボンってなあに？
- ・がんってなあに？
- ・サバイバー差別について
- ・キャンサーギフトのおはなし
- ・ピンチをチャンスに！
- ・小児がんで闘ったRちゃんのお母として親として伝えたいこと

乳がんの大きさと硬さが判る「^イpu」
実物を全員が触らせていただきました。
「かた〜い」「意外と大きい」と言っている生徒が多かったです。
昨年度、本校にもプレゼントしていただきました。保健室にありますので、いつでも触りにきてください。

- 講師の先生方から・・・
- * おうちの人に「検診に行ってね」と云ってね。
 - * 君たちの大切な人の笑顔をどうか守ってください。
 - * いつも相手の立場に立って考えてください。

生徒の感想（一部抜粋）

☆がんは身近なところにあることがしれました。また普段の生活からがんへの対策ができることがしれたのでこれからは、気をつけて生活していきたいです。
☆がんは誰でもなってしまう病気だという事が分かったし、身近な家族にも検診をすすめたり、がんについて色々教えてあげようとの講演を聞いて思いました。
☆私の身近な人もなる可能性があるということを考えて、検診などを勧めておいたほうが良いというお話を聞いて、確かにがんが大きくなってからじゃだめだと思いました。
☆早期発見が大事だと聞いたので、家族のみんなに話し検査してもらいたかったです。
☆今までは、当たり前のように明日があると思って生きてきたけど、世の中にはがんになってしまっただけで毎日不安や恐怖でいっぱいの中、一生懸命生きようとしているんだなと思えました。

令和4年度 学校保健委員会を 実施しました！

上記と同日に本校会議室にて学校保健委員会を実施しました。内容は生徒保健委員会活動報告、定期健康診断結果報告、体力テスト結果報告です。また、保健主事より本校のがん教育の取組を報告し、1学年のがん教育講演会に参加していただきました。講演後には乳がんプチセミナーも実施しました。

